

塗料用樹脂

中国に合弁販売社設立

イーグルスミ 東南アジア拠点も検討

イーグルスミコーポレーションは海外ビジネスを強化する。今年7月、中国・廈門に塗料用樹脂

販売の合弁会社を設立し、韓国、上海の各現地法人との海外3拠点体制を整えたのに続き、東南アジアにも拠点を設置する方向で検討を開始した。来年から始動する新5カ年中期経営計画で、グループに占める海外子会社の売上高を現在の10%弱から最終2020年度に25%にまで引き上げ

る方針。海外ネットワークを構築し新規需要を掘り起こす。中国の現地商社と合弁会社「スマアモイ」を設立した。従来、代理店を通して塗料用樹脂を販売してきたが、生産する日系メーカーが現地に進出したことで拠点の設置を決めた。

イーグルスミコーポレーションは国内石油化学業界の再編を背景に、主力の基礎化学品から機能性化学品へ事業シフトを

進めている。今回のように樹脂原料から樹脂の取り扱いを増やし、さらに周辺の川下商材を手掛けることで収益の底上げを図る。

また東南アジアでの拠点設置を検討しており、中・韓とASEAN(東南アジア諸国連合)市場での連携を目指す。新5カ年中期計画ではこうした海外展開と付加価値分野の強化を目標に掲げ、塗料・インキのほか、電子材料やライフサイエ

ンス分野を狙い市場開拓に取り組み。

電子材料やライフサイエ

ンス分野を狙い市場開拓に取り組み。

Chemical Daily